

# 酒呑場遺跡

SAKENOMIBA SITE

## 遺跡見学会資料

山梨県埋蔵文化財センター 2017年9月9日土曜日

皆さん、<sup>さけのみば</sup>酒呑場遺跡を知っていますか？

### ①全国に認められた出土品！

これまでの発掘調査で出土した縄文時代の土器や石器・土製品 683 点が、この地域を代表するものとして、2013 年に国の重要文化財に指定されました。

### ②大規模な集落遺跡！

今まで見つかった住居の数は、なんと 220 軒！出土品の中には、遠くから持ち運ばれた石材を使った石器も見つかっています。

### ③継続的に営まれたムラ

縄文時代の前期から後期の初め（6000 年前から 3800 年前ころ）まで、2000 年以上にわたって継続的に集落がつけられました。



酒呑場遺跡は北杜市長坂町長坂上条 621-2 にあります。北杜市には他にも金生（きんせい）遺跡などの有名な縄文時代の遺跡がありますよ！

## 今回の発掘調査で分かったことは？

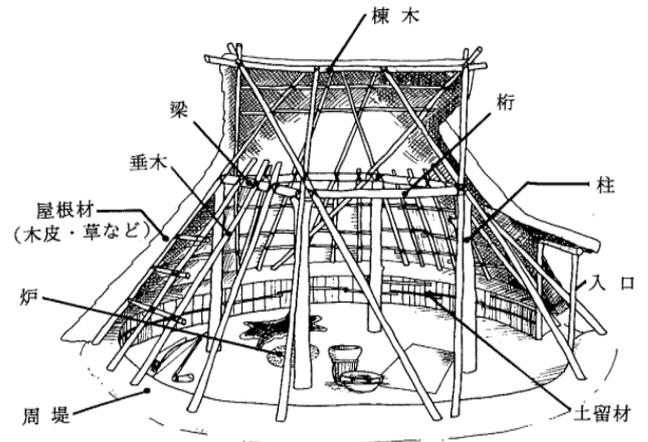
今回の調査地点は、約 450 m<sup>2</sup>の範囲の中から、住居跡 9 軒と、土坑を 66 基確認しました（9 月 8 日現在）。住居跡の調査中に、住居を埋めている土の中から、完全な形に近い土器が、捨てられたように出てきました。住居が使われなくなってくぼんだ土地に、土器を捨てたのだと思います。また、1 号住居・4 号住居・6 号住居・7 号住居から、立派な石囲炉が発見され、1 号住居、5 号住居、7 号住居、9 号住居からは、住居内に土器を埋設した遺構がみつけられました。また、31 号土坑は、土坑の中に土器の口縁を埋めた後、多数の石を集めて埋めている様子が確認されました。

これらの住居が造られた時期は、縄文時代中期後半、曾利 I～II 式期（約 4500 年前）を中心に、縄文時代前期後半の諸磯 b 式期（約 5500 年前）のものもみられます。過去に調査された東側の調査区も、同じ時期の住居が多く、この時期の集落が西側にも広がっている様子を確認することができました。

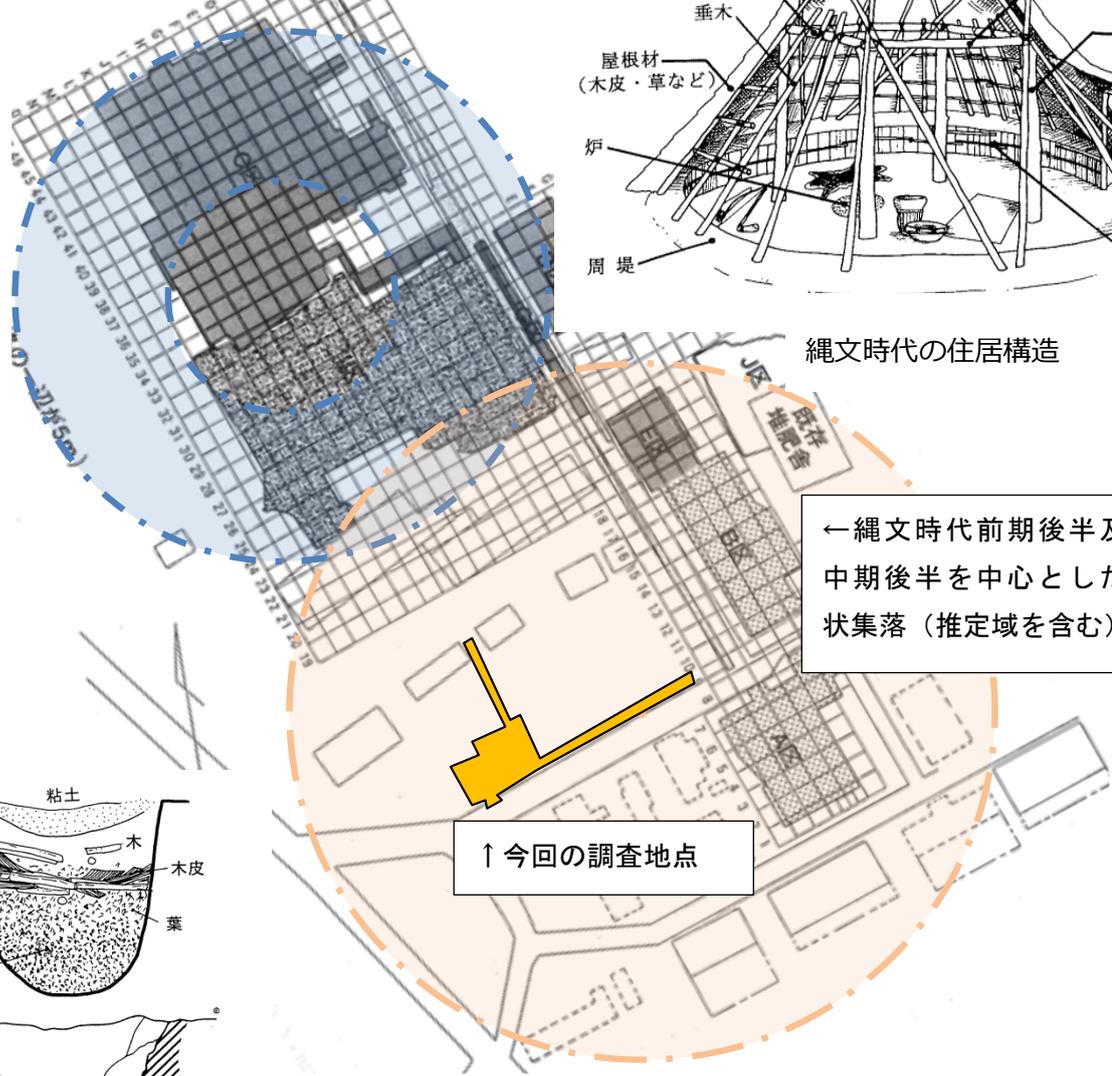
主な遺構と時期（時期は整理作業の段階で再検討し、確定します。）

遺構	時期	備考	遺構	時期	備考
1号住居	曾利Ⅱ式?	炉の編年から	10号住居	諸磯b式	黒曜石が多く出土
4号住居	曾利Ⅱ式	小型土器を伴う炉	11号住居	中期	細分は要検討
5号住居	曾利Ⅰ式初	3回の建て替え	30号土坑	諸磯b式	耳飾りが2個出土
6号住居	曾利Ⅰ～Ⅱ式		31号土坑	諸磯b式	集石と埋設?土器
7号住居	曾利Ⅱ式	埋甕2基あり	34号土坑	曾利式	3箱分の出土遺物
9号住居	曾利Ⅴ式	埋め戻し済	43号土坑	中期	上層で土偶出土

↓縄文時代中期前半を中心とした環状集落（推定域を含む）

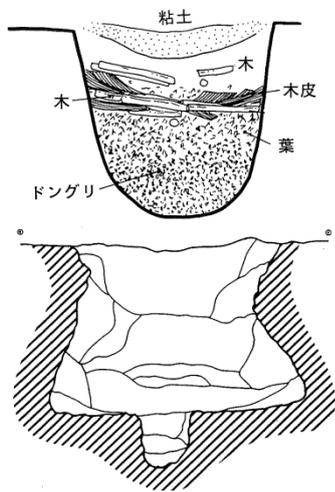


縄文時代の住居構造



←縄文時代前期後半及び中期後半を中心とした環状集落（推定域を含む）

↑今回の調査地点



貯蔵穴の例

前期後半	中期		
諸磯	五領ヶ台	勝坂	曾利

